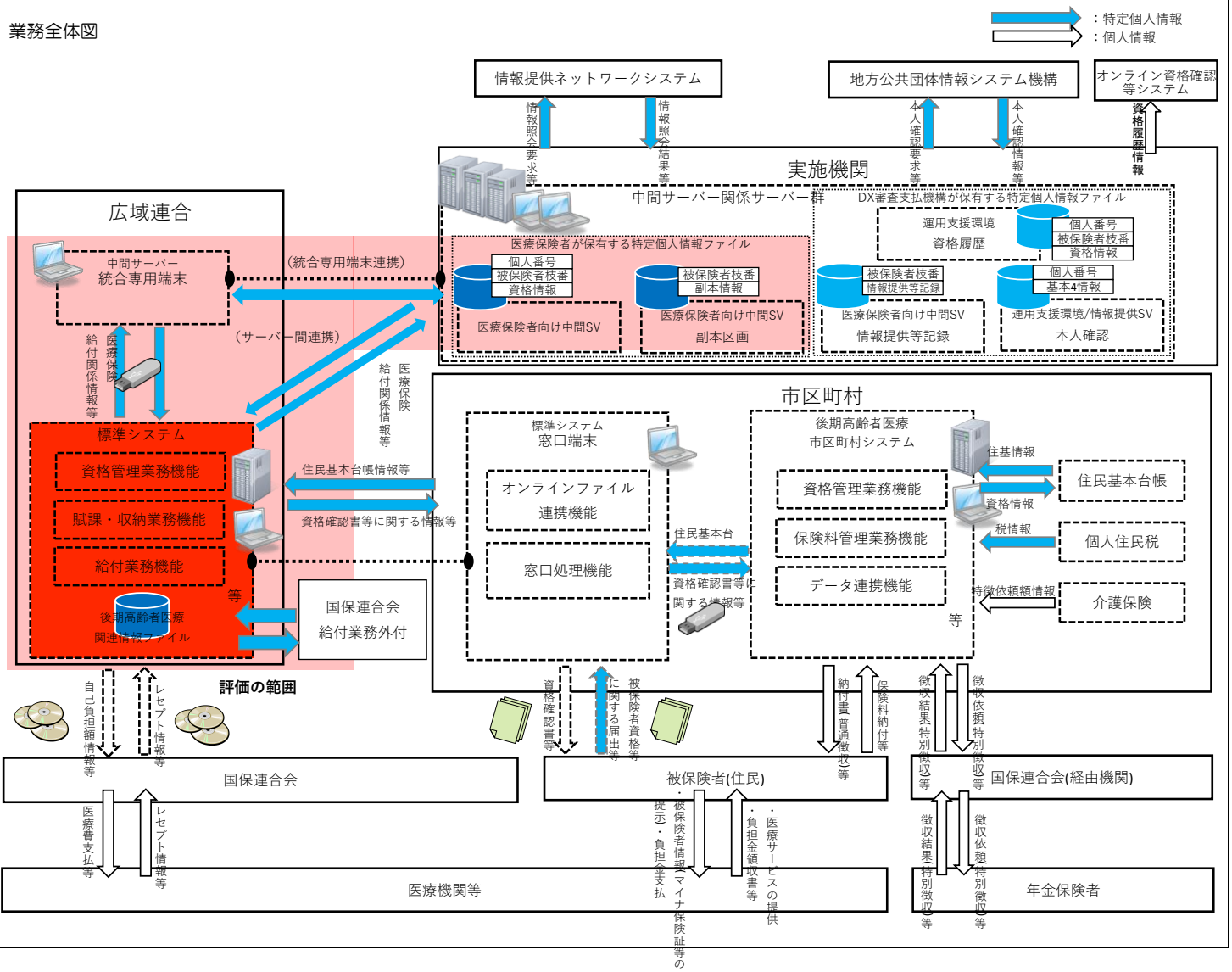
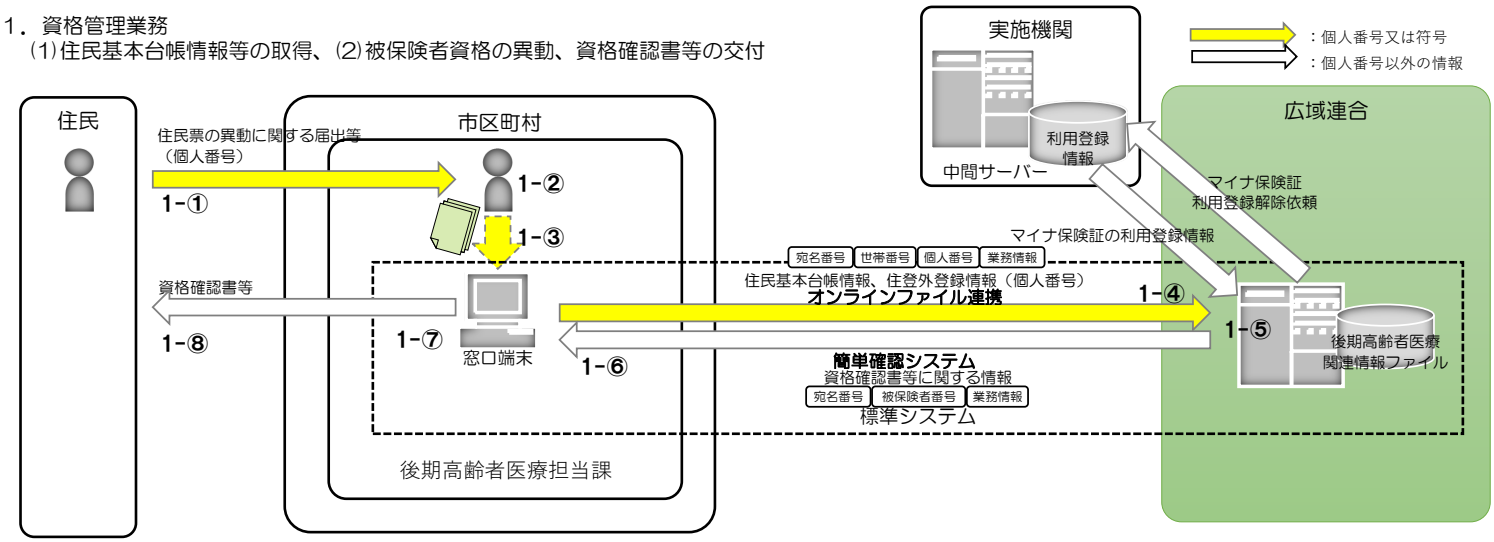
(別添1) 事務の内容

業務全体図



(別添1) 事務の内容



(備考)

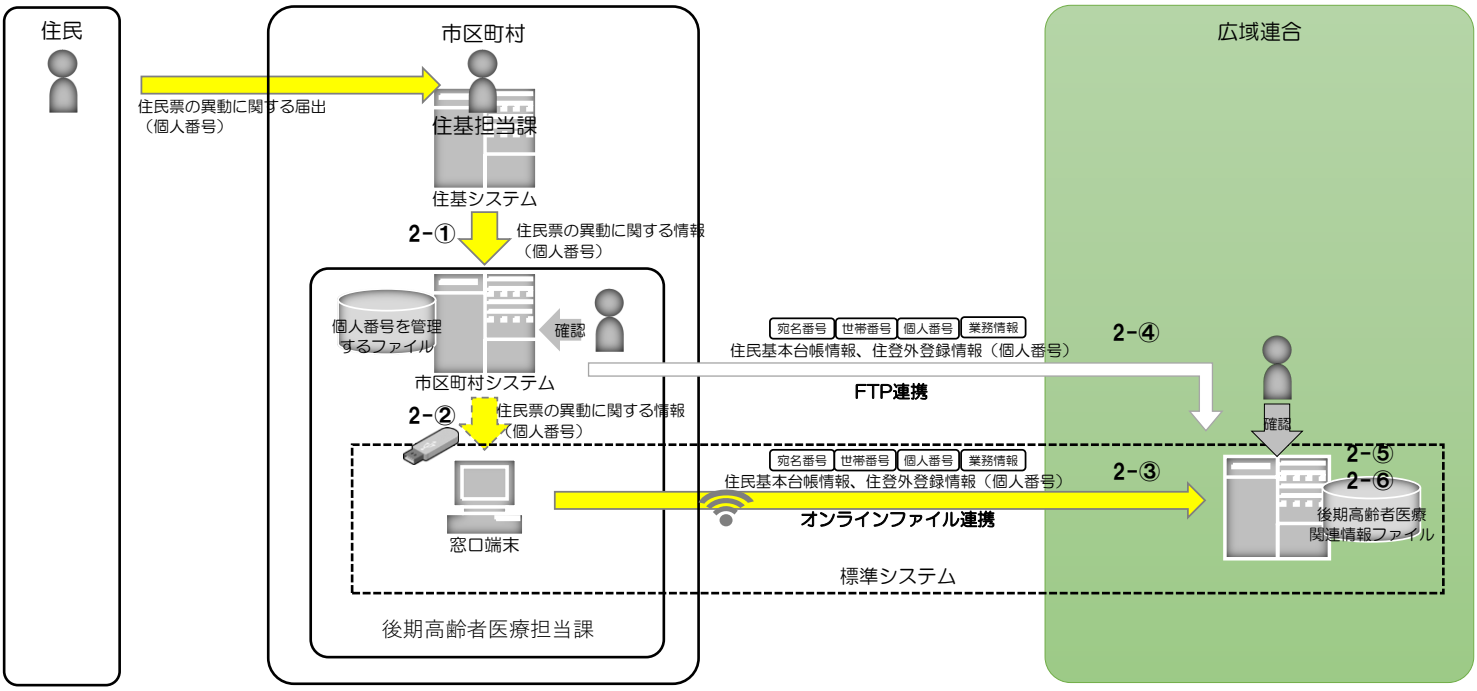
1．資格管理業務
(1)住民基本台帳情報等の取得、(2)被保険者資格の異動、資格確認書等の交付
1-①市区町村の後期高齢者医療窓口において、住民から個人番号が記入された被保険者資格等に関する届出等を受け付ける。
1-②市区町村において、届出書等に記載された個人番号の確認を行う。
1-③市区町村の窓口端末に、個人番号を含む申請事項を登録する。
1-④市区町村の窓口端末に登録された申請事項は、個人番号と併せて広域連合の標準システムに登録される。
1-⑤広域連合の標準システムでは、市区町村において登録された「市区町村と同一の宛名番号」に紐付けして「個人番号」が管理される。
1-⑥市区町村の窓口端末において、広域連合の標準システムに登録された資格情報を取得する。
1-⑦市区町村では、市区町村の窓口端末に表示した情報を確認し、資格確認書等の発行を行う。
1-⑧資格確認書等を交付する。

※宛名番号、世帯番号、被保険者番号について
・宛名番号及び世帯番号は、各市区町村がそれぞれ設定している既存の番号であり、広域連合は構成市区町村のそれぞれの宛名番号及び世帯番号を市区町村コードとともに保有・管理している。宛名番号及び世帯番号で管理している情報は、主に住民基本台帳関係の情報や資格の得喪に関する情報である。
・被保険者番号は各広域連合がそれぞれ設定している既存の番号であり、市区町村は所属している広域連合の被保険者番号を保有・管理している。被保険者番号で管理している情報は、主に資格の内容や保険料の賦課・徴収、給付に関する情報である。
・広域連合及び市区町村は、宛名番号、世帯番号、被保険者番号をそれぞれ個人番号と紐付けして保有・管理している。
※オンラインファイル連携機能とは、市区町村の窓口端末のWebブラウザーを用いて、各種ファイルを広域連合の標準システムサーバーに送信する機能と、広域連合の標準システムサーバー内に格納されている各種ファイルや帳票等を市区町村の窓口端末に配信する機能のことをいう。
※簡単確認システムとは、大阪府後期高齢者医療広域連合において別途構築・運用している市区町村へのファイル配信を行う際に随時配信機能や配信の制御機能、標準システム以外のファイル配信機能を備えたオンラインシステムのことを指す。

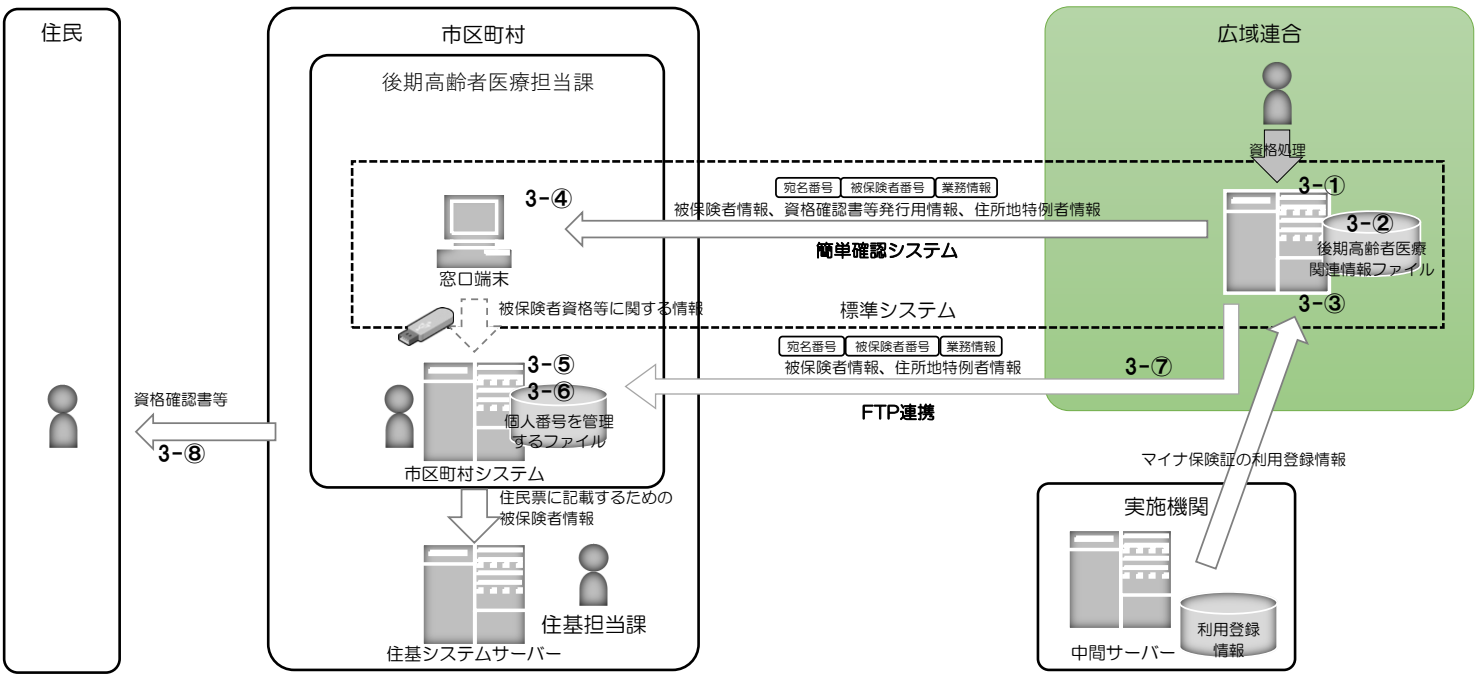
※被保険者枝番の取得の流れは、「4．加入者情報作成」に記載。
※中間サーバーへの被保険者資格情報の登録は、「5．副本作成」に記載。
※情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会は、「6．情報照会」に記載。
※地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手の流れは、「7．地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手」に記載

(別添1) 事務の内容

(1)住民基本台帳情報等の取得



(2)被保険者資格の異動、資格確認書等の交付



(備考)
(1)住民基本台帳情報等の取得
2-①後期高齢者医療市区町村システム(以下「市区町村システム」という。)は、住基システムから住民票の異動に関する情報の移転を受け、市区町村システムに更新する。
2-②市区町村システムから、被保険者と世帯員及び被保険者以外の年齢到達予定者についての住民票の異動に関する情報等を電子記録媒体等に移出し、
市区町村の窓口端末に移入する。
2-③市区町村の窓口端末から、広域連合の標準システムに、個人番号を含む「住民基本台帳情報」及び「住登外登録情報」が送信される。
2-④FTP連携対象の市区町村では市区町村システムから、被保険者と世帯員及び被保険者以外の年齢到達予定者についての住民票の異動に関する情報等を、窓口端末を介さず
FTPにてサーバー間連携を行い広域連合の標準システムに、個人番号を含む「住民基本台帳情報」及び「住登外情報」が送信される。
2-⑤広域連合の標準システムでは、送信された「住民基本台帳情報」及び「住登外登録情報」に基づいて、同システムの当該情報を更新する。
2-⑥広域連合の標準システムでは、市区町村から送信された当該情報に含まれる「市区町村と同一の宛名番号」に紐付けして「個人番号」が管理される。

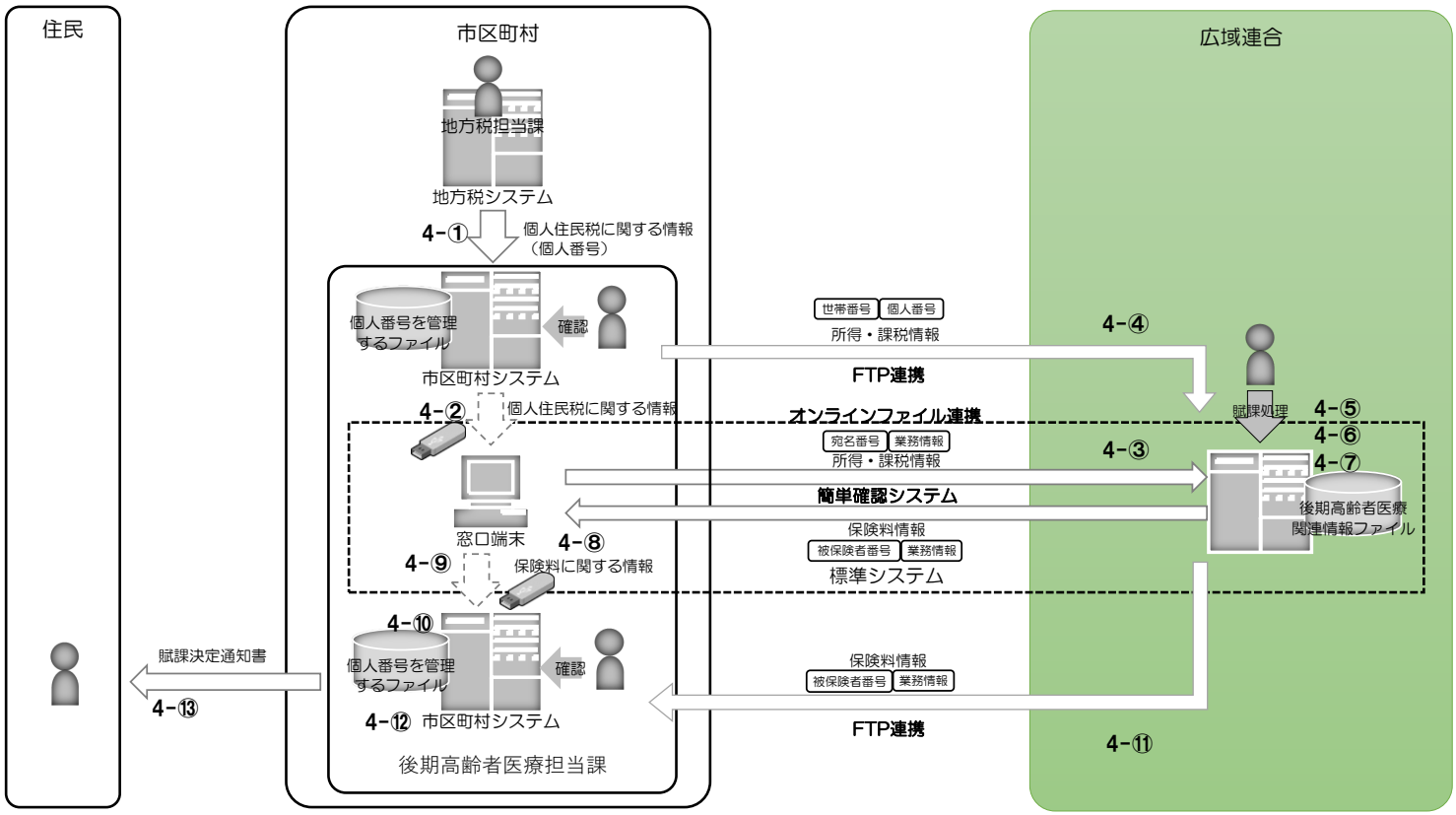
※FTP連携機能とは、ファイル転送用プロトコルであるFTPを用いて市区町村の後期高齢者医療市区町村システム（以下、市区町村システム）から各種ファイルを
広域連合の標準システムサーバーに送信する機能と、広域連合の標準システムサーバー内に格納されている各種ファイルを市区町村の市区町村システムに配信する機能のことをいう。
大阪府後期高齢者医療広域連合では、申請のあった市区町村のみ利用している。

(2)被保険者資格の異動、資格確認書等の交付
3-①(2)において市区町村の窓口端末から広域連合の標準システムに送信された「住民基本台帳情報」及び「住登外登録情報」により、広域連合は住民票の異動や
年齢到達等を把握し、広域連合の標準システムにおいて被保険者資格の取得・喪失・資格要件の変更に関する処理を行う。
3-②広域連合の標準システムでは、「市区町村と同一の宛名番号」と「個人番号」に、さらに「被保険者番号」が紐付けられる。
3-③市区町村の窓口端末による異動分を含めて、広域連合の標準システムに「被保険者情報」等が作成される。
3-④広域連合の簡単確認システムから市区町村の窓口端末に、「被保険者情報」等を配信する。
3-⑤市区町村では、市区町村の窓口端末から「被保険者情報」等を電子記録媒体等に移出し、市区町村システムに移入する。
3-⑥市区町村システムでは、移入された「被保険者情報」等に基づいて、同システムの当該情報を更新する。
市区町村では、すでに「宛名番号」に紐付けして「個人番号」が管理されているため、そこに「被保険者番号」を紐付けして管理される。
3-⑦FTP連携対象の市区町村では広域連合の標準システムから市区町村の窓口端末を介さずＦＴＰにてサーバー間連携を行い、市区町村システムに「被保険者情報」等が配信され、
同システムの当該情報を更新する。市区町村では、既に「宛名番号」に紐付けして「個人番号」が管理されているため、そこに「被保険者番号」を紐付けして管理される。
3-⑧資格確認書等を作成して交付する。

※被保険者枝番の取得の流れは、「４．加入者情報作成」に記載。
※中間サーバーへの被保険者資格情報の登録は、「５．副本作成」に記載
※情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会は、「６．情報照会」に記載
※地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手の流れは、「７．地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手」に記載

(別添1) 事務の内容

2．賦課・収納業務
（1）保険料賦課



(備考)

（1）保険料賦課

4－①市区町村システムは、地方税システムから個人住民税に関する情報の移転を受け、市区町村システムに更新する。

4－② 市区町村システムから個人住民税情報を電子記録媒体等に移出し、市区町村の窓端末口に移入する。

4－③ 市区町村の窓口端末から、広域連合の標準システムに、「所得・課税情報」が送信される。

4－④ FTP連携対象の市区町村では市区町村システムから個人住民税情報を、窓口端末を介さずFTPにてサーバー間連携を行い広域連合の標準システムに、「所得・課税情報」が送信される。

4－⑤ 広域連合の標準システムでは、送信された「所得・課税情報」に基づいて、同システムの当該情報を更新する。

4－⑥ 広域連合の標準システムにおいて、保険料賦課の処理を行う。

4－⑦ 広域連合の標準システムに「保険料情報」が作成される。

4－⑧ 広域連合の簡単確認システムから市区町村の窓口端末に、「保険料情報」等を配信する。

4－⑨ 市区町村では、市区町村の窓口端末から「保険料情報」等を電子記録媒体等に移出し、市区町村システムに移入する。

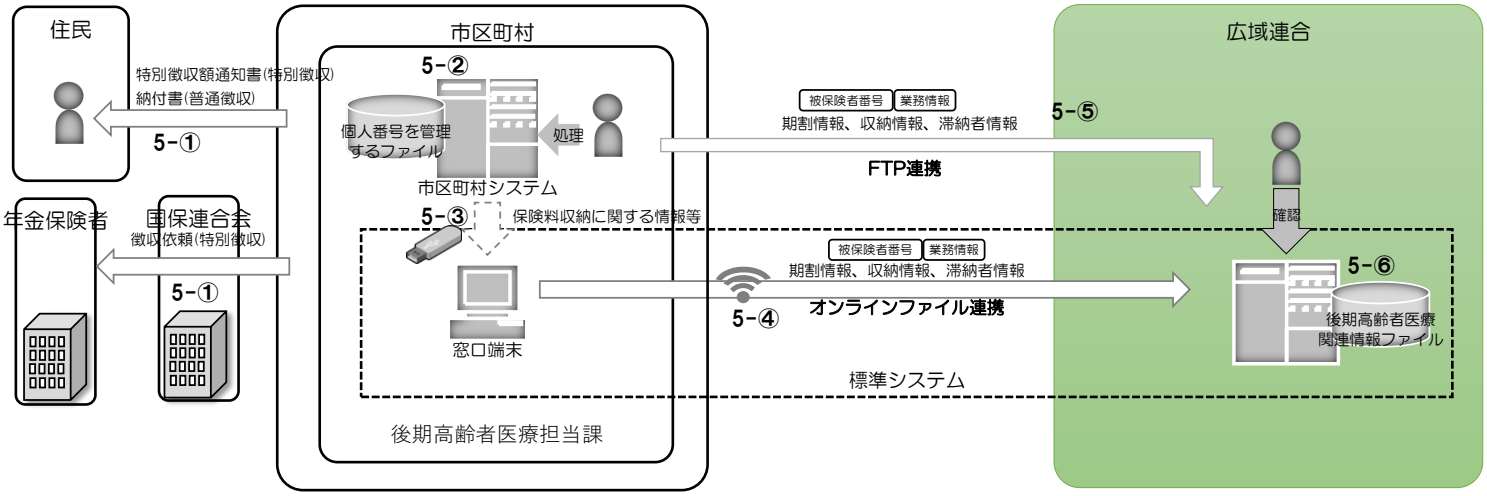
4－⑩ 市区町村システムでは、移入された「保険料情報」等に基づいて、同システムの当該情報を更新する。

4－⑪ FTP連携対象の市区町村では広域連合の標準システムから市区町村の窓口端末を介さずFTPにてサーバー間連携を行い市区町村システムに「保険料情報」等が配信され、同システムの当該情報を更新する。

4－⑫ 市区町村システムでは、必要に応じて該当する通知書等を発行する。

(別添1) 事務の内容

（2）保険料収納管理



(備考)

（2）保険料収納管理

5－①市区町村で、保険料の徴収方法と納期を決定し、「特別徴収額通知書」や、「納付書」の交付を行い、保険料の徴収を行う。

5－② 市区町村システムにおいて、保険料の賦課及び徴収の実施状況に関するデータ管理を行う。

5－③ 市区町村システムから、保険料収納に関する情報等を電子記録媒体等に移出し、市区町村の窓口端末に移入する。

5－④ 市区町村の窓口端末から、広域連合の標準システムに「期割情報」及び「収納情報」、「滞納者情報」が送信される。

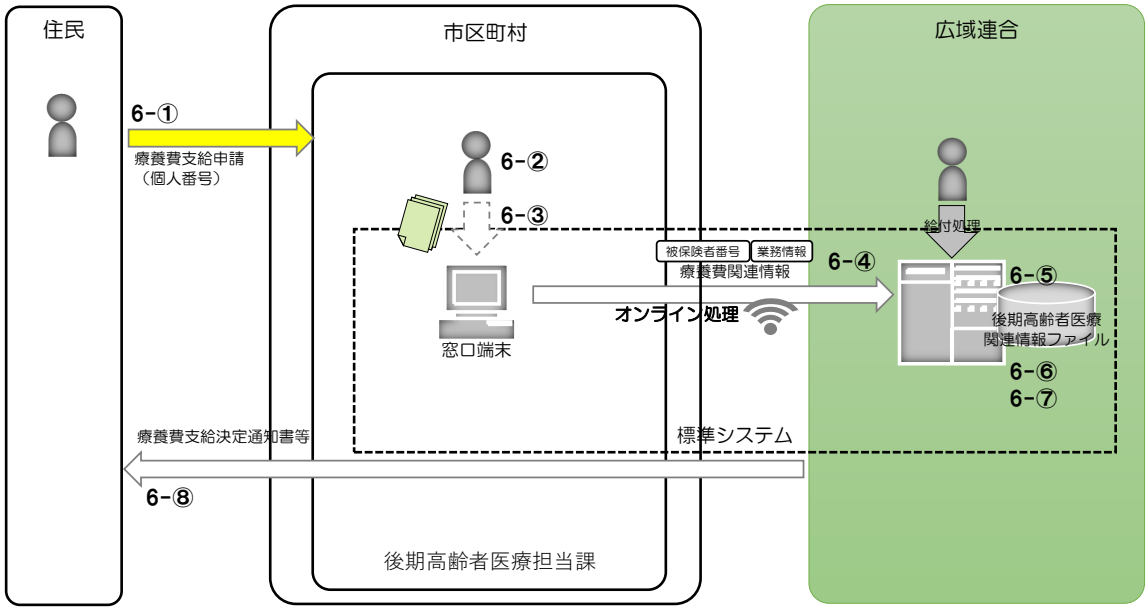
5－⑤ FTP連携対象の市区町村では市区町村システムから保険料収納に関する情報等を、窓口端末を介さずFTPにてサーバー間連携を行い広域連合の標準システムに、「期割情報」及び「収納情報」、「滞納者情報」が送信される。

5－⑥ 広域連合の標準システムでは、送信された「期割情報」及び「収納情報」、「滞納者情報」に基づいて、同システムの当該情報を更新する。

※情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会は、「６．情報照会」に記載。

(別添1) 事務の内容

3．給付業務



(備考)

3．給付業務

6－① 市区町村の後期高齢者医療窓口において、被保険者から個人番号が記入された療養費支給申請に関する届出を受け付ける。

6－② 市区町村において、届出書等に記載された個人番号の確認を行う。

6－③ 市区町村の窓口端末に、申請事項を登録する。

6－④ 市区町村の窓口端末から、広域連合の標準システムに、「療養費関連情報」が送信される。

6－⑤ 広域連合の標準システムでは、送付された「療養費関連情報」に基づいて、同システムで療養費の支給決定処理を行う。

6－⑥ 広域連合の標準システムに「療養費支給決定通知情報」等が作成される。

6－⑦ 広域連合において、療養費支給決定通知書等の発行を行う。

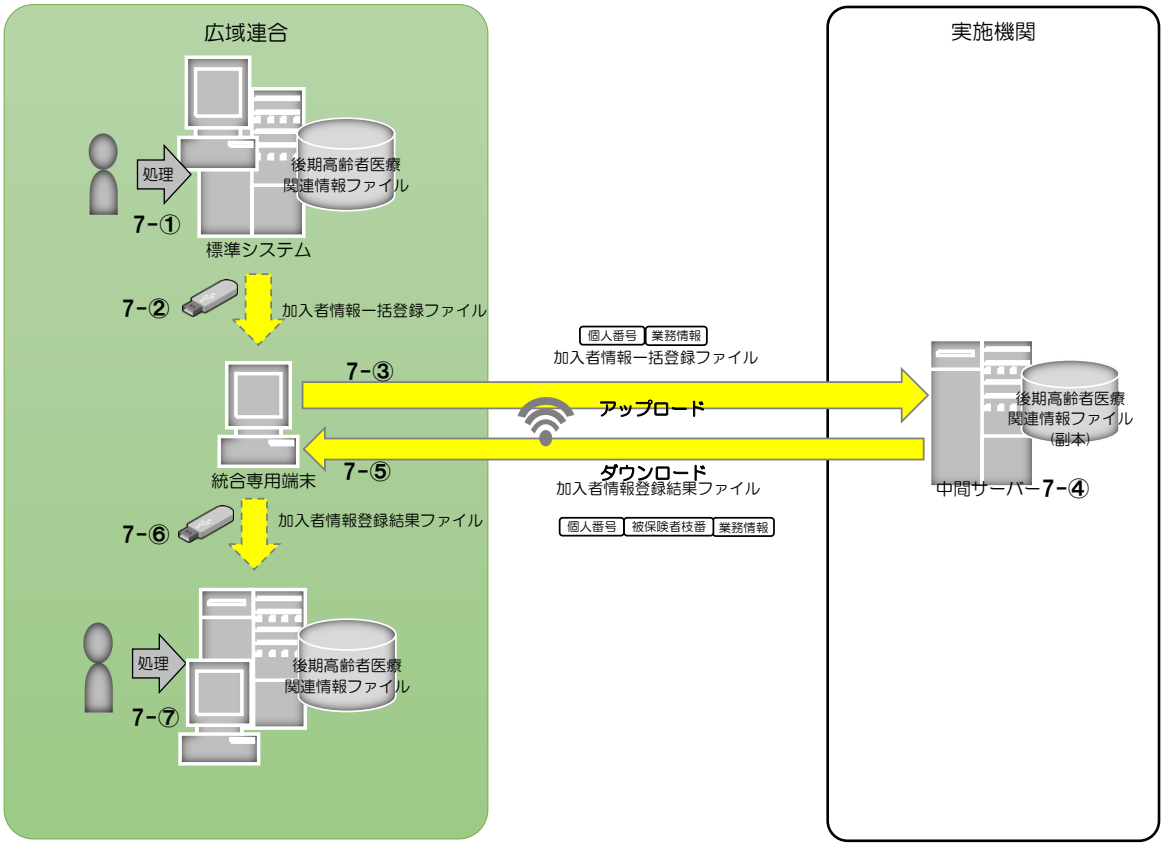
6－⑧ 療養費支給決定通知書等を交付する。

※中間サーバーへの給付関係情報の登録は、「5．副本作成」に記載。

※情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会は、「6．情報照会」に記載。

(別添1) 事務の内容

4．加入者情報作成(「１．資格管理業務」に付随する事務)　※統合専用端末連携の場合



(備考)

4．加入者情報作成(「１．資格管理業務」に付随する事務)

7-①一括処理で被保険者及び世帯構成員の個人情報を抽出し、加入者情報一括登録ファイルを作成する。

7-②広域連合の標準システムから加入者情報一括登録ファイルをダウンロードし、統合専用端末へ媒体で移送する。

7-③統合専用端末から中間サーバーへ加入者情報一括登録ファイルをアップロードする。

7-④中間サーバーで加入者情報一括登録ファイルの取込処理、及び被保険者枝番の生成処理が行われ、
被保険者枝番及び処理結果が加入者情報登録結果ファイルに出力される。

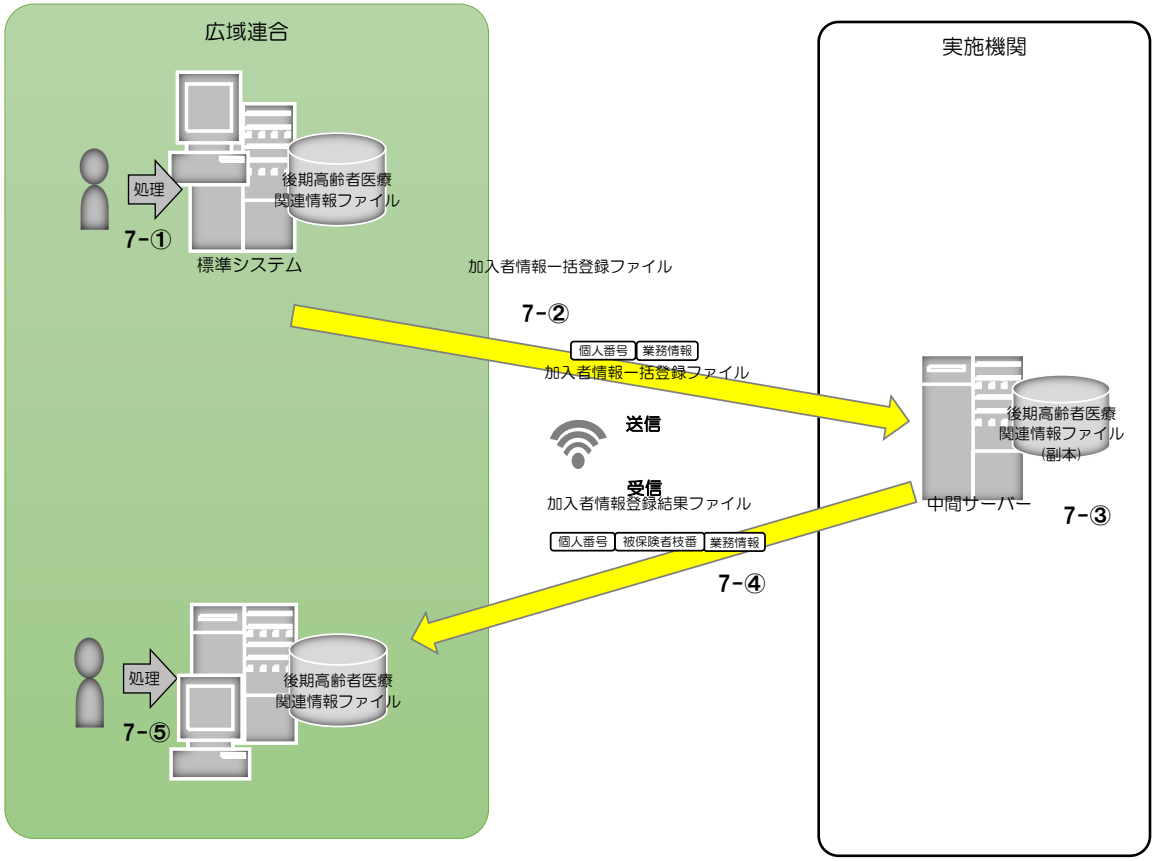
7-⑤中間サーバーから統合専用端末へ加入者情報登録結果ファイルをダウンロードする。

7-⑥統合専用端末から加入者情報登録結果ファイルを広域連合の標準システムへ媒体で移送してアップロードする。

7-⑦一括処理で加入者情報登録結果ファイルを取り込む。

(別添1) 事務の内容

4. 加入者情報作成(「1．資格管理業務」に付随する事務)　※サーバー間連携の場合



(備考)

4．加入者情報作成(「1．資格管理業務」に付随する事務)

7-①一括処理で被保険者及び世帯構成員の個人情報を抽出し、加入者情報一括登録ファイルを作成する。

7-②標準システムから中間サーバーへ加入者情報一括登録ファイルを送信する。

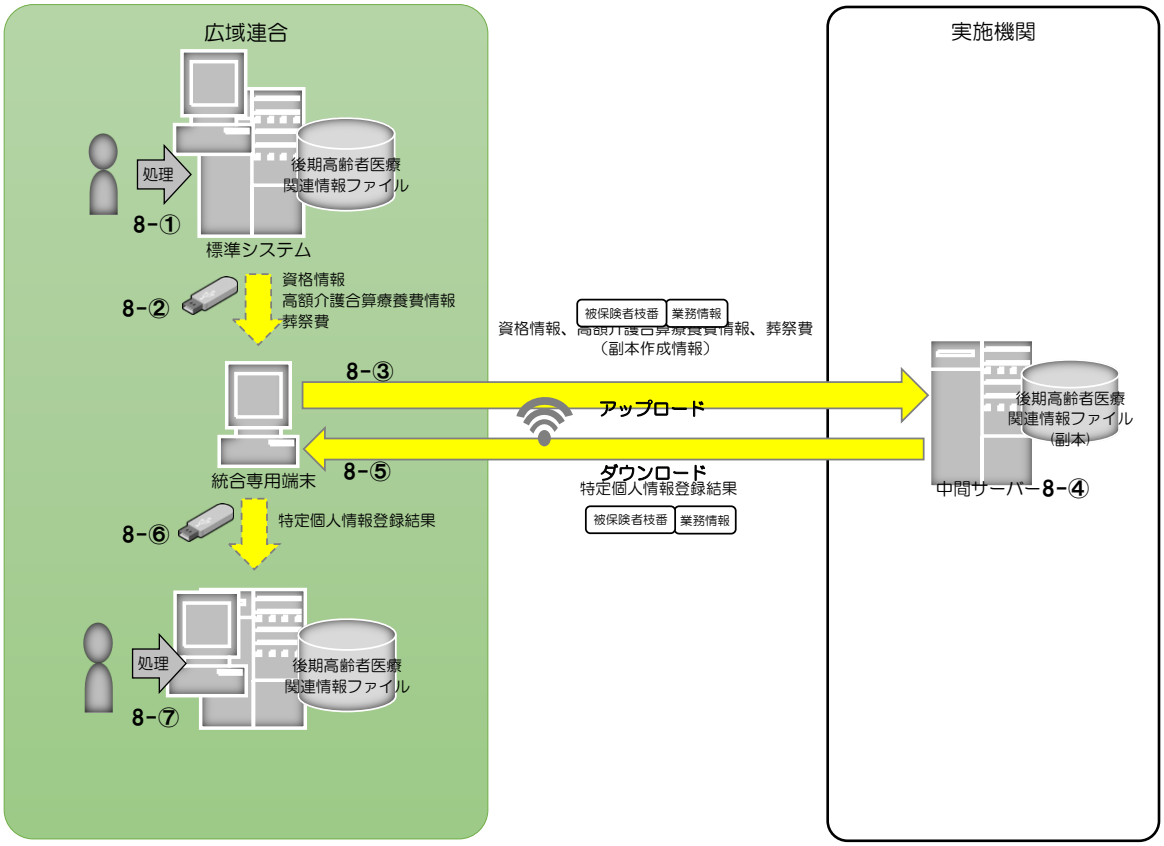
7-③中間サーバーで加入者情報一括登録ファイルの取込処理、及び被保険者枝番の生成処理が行われ、
処理結果が加入者情報登録結果ファイルに出力される。

7-④中間サーバーから加入者情報登録結果ファイルを受信する。

7-⑤一括処理で加入者情報登録結果ファイルを取り込む。

(別添1) 事務の内容

5. 副本作成(「1．資格管理業務」、「3．給付業務」に付随する事務)　※統合専用端末連携の場合



(備考)

5．副本作成(「1．資格管理業務」、「3．給付業務」に付随する事務)

8-①一括処理で被保険者の医療情報を抽出し、以下のインターフェースファイルを作成する。

・資格情報登録ファイル

・高額介護合算療養費情報登録ファイル

・葬祭費登録ファイル

8-②広域連合の標準システムから上記8-①のインタフェースファイルをダウンロードし、統合専用端末へ媒体で移送する。

8-③統合専用端末から中間サーバーへ上記8-①のインタフェースファイルをアップロードする。

8-④中間サーバーで上記8-①のインタフェースファイルの取込処理が行われ、処理結果が特定個人情報登録結果ファイルに出力される。

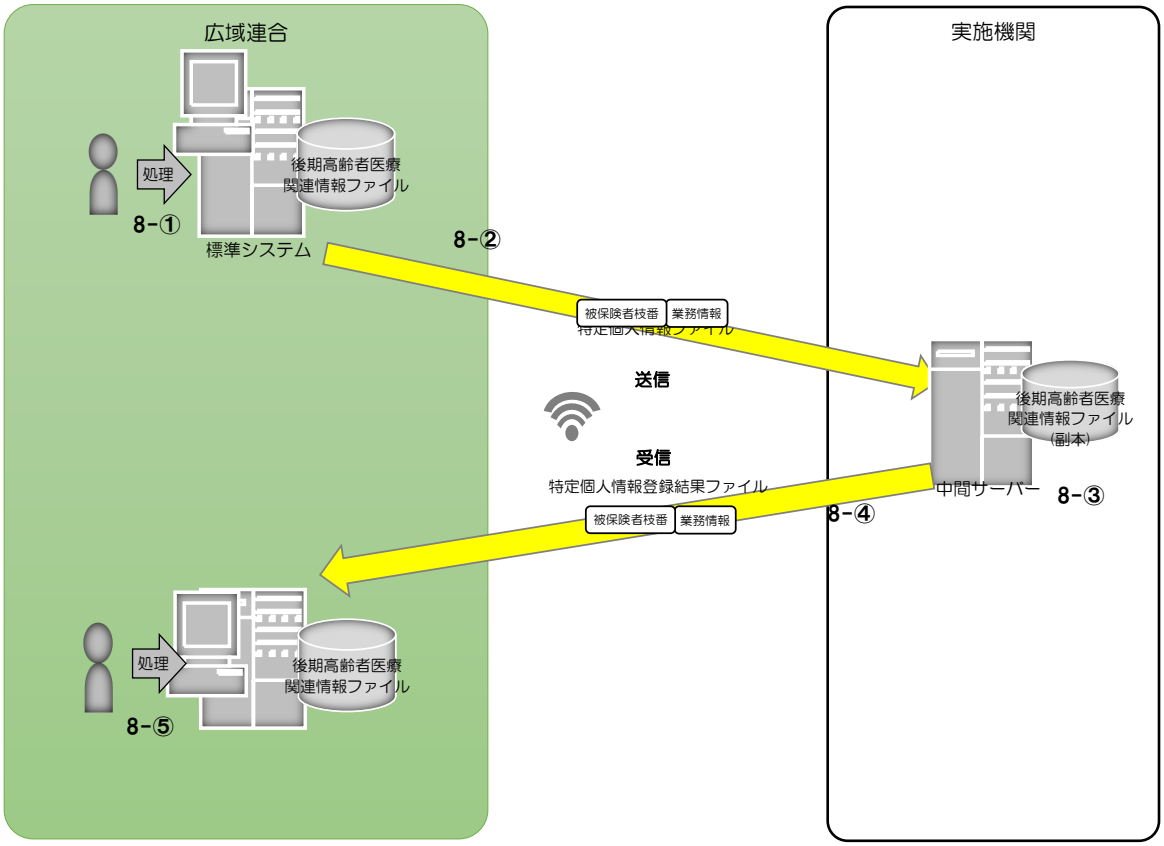
8-⑤中間サーバーから統合専用端末へ特定個人情報登録結果ファイルをダウンロードする。

8-⑥統合専用端末から特定個人情報登録結果ファイルを広域連合の標準システムへ媒体で移送してアップロードする。

8-⑦一括処理で特定個人情報登録結果ファイルを取り込む。

(別添1) 事務の内容

5. 副本作成(「1．資格管理業務」、「3．給付業務」に付随する事務)　※サーバー間連携の場合



(備考)

5．副本作成(「1．資格管理業務」、「3．給付業務」に付随する事務)

8-①一括処理で被保険者の医療情報を抽出し、以下のインターフェースファイルを作成する。

・資格情報登録ファイル

・高額介護合算療養費情報登録ファイル

・葬祭費登録ファイル

8-②標準システムから中間サーバーへ特定個人情報ファイル（8-①で作成したファイル）を送信する。

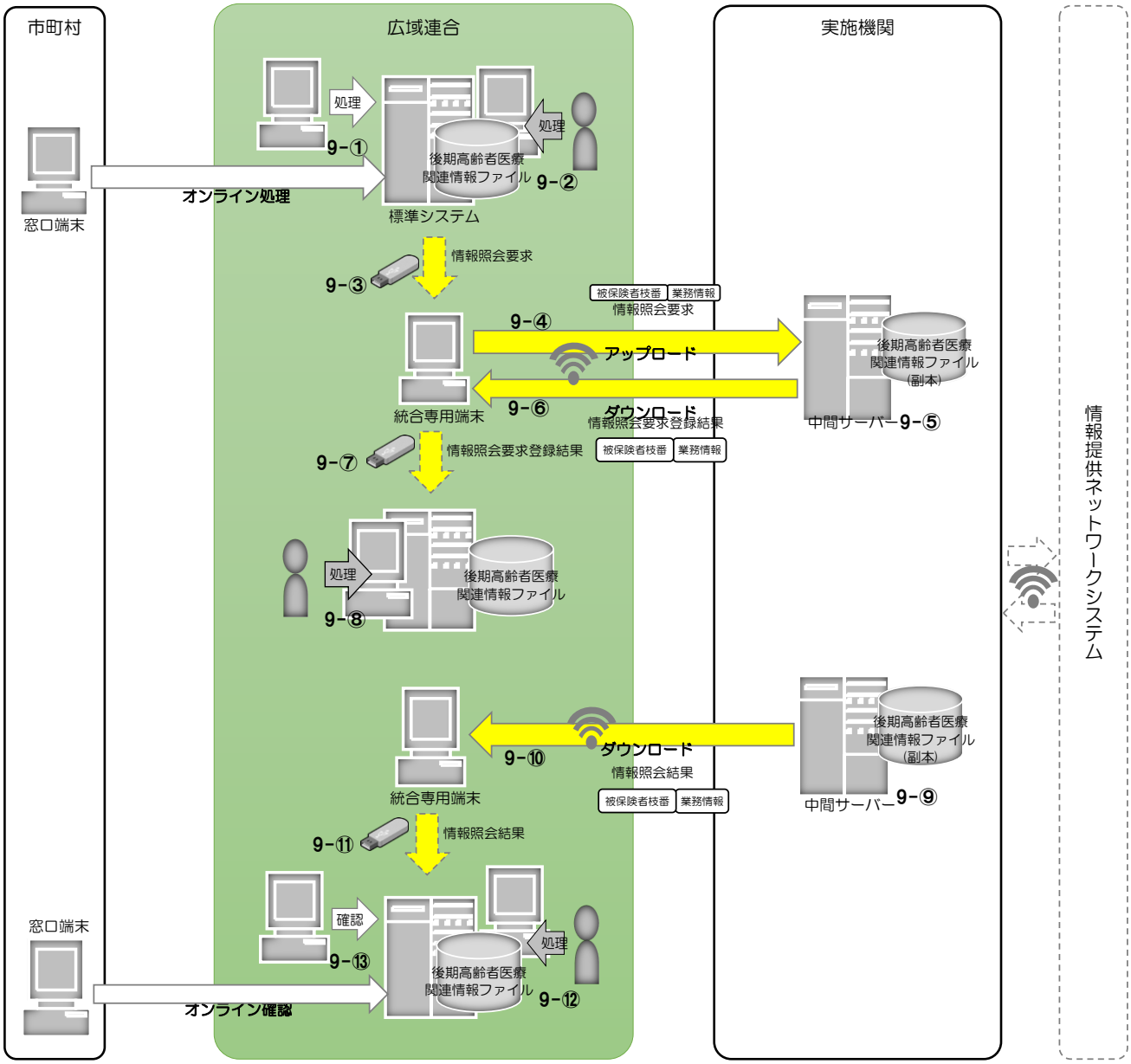
8-③中間サーバーで特定個人情報ファイルの取込処理が行われ、処理結果が特定個人情報登録結果ファイルに出力される。

8-④中間サーバーから特定個人情報登録結果ファイルを受信する。

8-⑤一括処理で特定個人情報登録結果ファイルを取り込む。

(別添1) 事務の内容

6. 情報照会(「1．資格管理業務」、「2．賦課・収納業務」、「3．給付業務」に付随する事務)　※統合専用端末連携の場合



(備考)

6．情報照会(「1．資格管理業務」、「2．賦課・収納業務」、「3．給付業務」に付随する事務)

9-①市町村の窓口端末や広域連合の標準システムからオンライン画面で情報照会要求を行う。

9-②一括処理で情報照会要求ファイルを作成する。

9-③広域連合の標準システムから情報照会要求ファイルをダウンロードし、統合専用端末へ媒体で移送する。

9-④統合専用端末から中間サーバーへ情報照会要求ファイルをアップロードする。

9-⑤中間サーバーで情報照会要求ファイルの取込処理が行われ、処理結果が情報照会要求登録結果ファイルに出力される。

9-⑥中間サーバーから統合専用端末へ情報照会要求登録結果ファイルをダウンロードする。

9-⑦統合専用端末から情報照会要求登録結果ファイルを広域連合の標準システムへ媒体で移送してアップロードする。

9-⑧一括処理で情報照会要求登録結果ファイルを取り込む。

9-⑨中間サーバーで情報照会結果ファイルが作成される。

9-⑩中間サーバーから統合専用端末へ情報照会結果ファイルをダウンロードする。

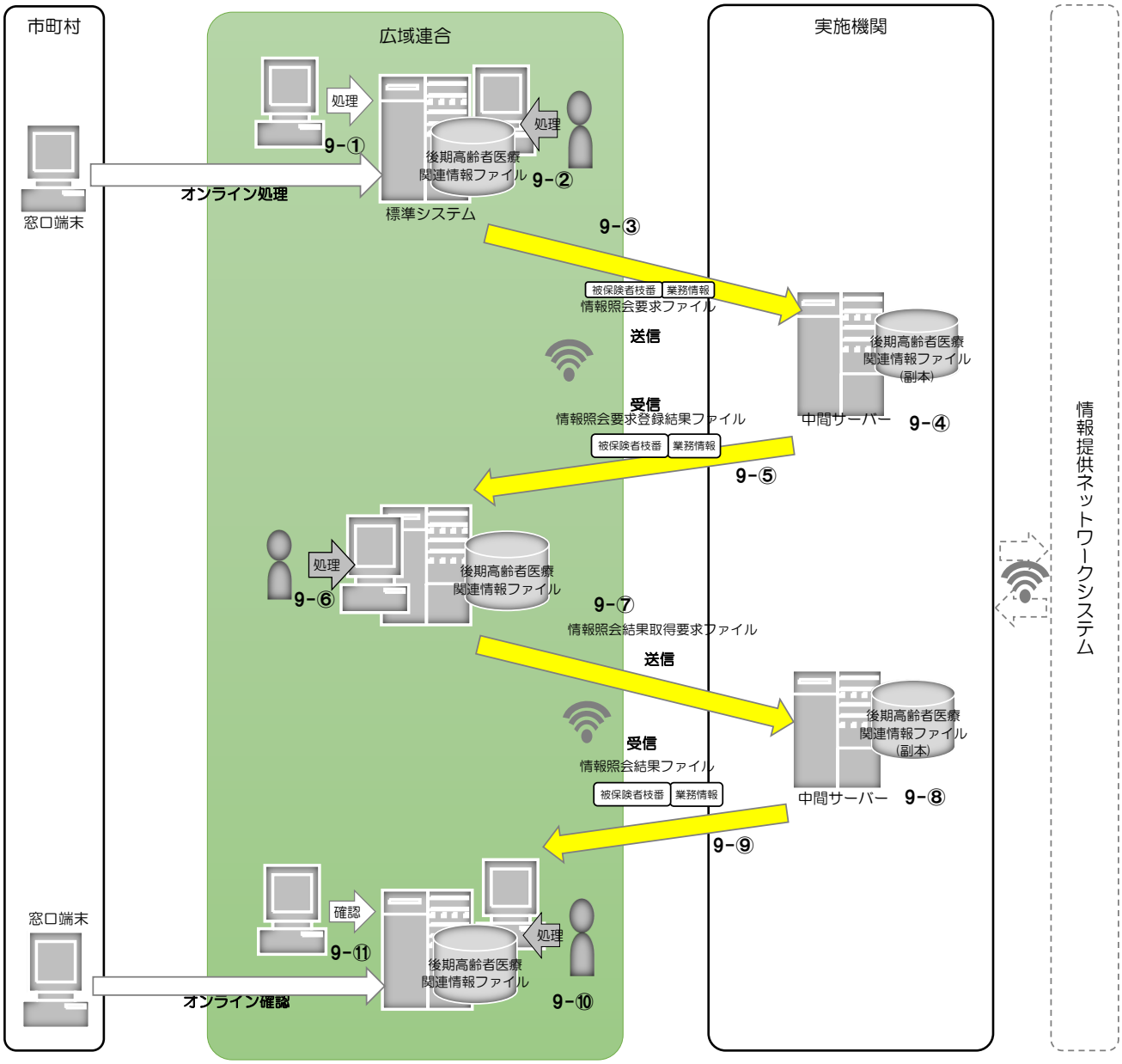
9-⑪統合専用端末から情報照会結果ファイルを広域連合の標準システムへ媒体で移送してアップロードする。

9-⑫一括処理で情報照会結果ファイルを取り込む。

9-⑬市町村の窓口端末や広域連合の標準システムで、情報照会結果をオンライン画面から確認する。

(別添1) 事務の内容

6. 情報照会(「1．資格管理業務」、「2．賦課・収納業務」、「3．給付業務」に付随する事務)　※サーバー間連携の場合



(備考)

6．情報照会(「1．資格管理業務」、「2．賦課・収納業務」、「3．給付業務」に付随する事務)

9-①市町村の窓口端末や広域連合の標準システムからオンライン画面で情報照会要求を行う。

9-②一括処理で情報照会要求ファイルを作成する。

9-③標準システムから中間サーバーへ情報照会要求ファイルを送信する。

9-④中間サーバーで情報照会要求ファイルの取込処理が行われ、処理結果が情報照会要求登録結果ファイルに出力される。

9-⑤中間サーバーから情報照会要求登録結果ファイルを受信する。

9-⑥一括処理で情報照会要求登録結果ファイルを取り込む。

9-⑦一括処理で情報照会結果取得要求ファイルを作成し、中間サーバーへ送信する。

9-⑧中間サーバーで情報照会結果ファイルが作成される。

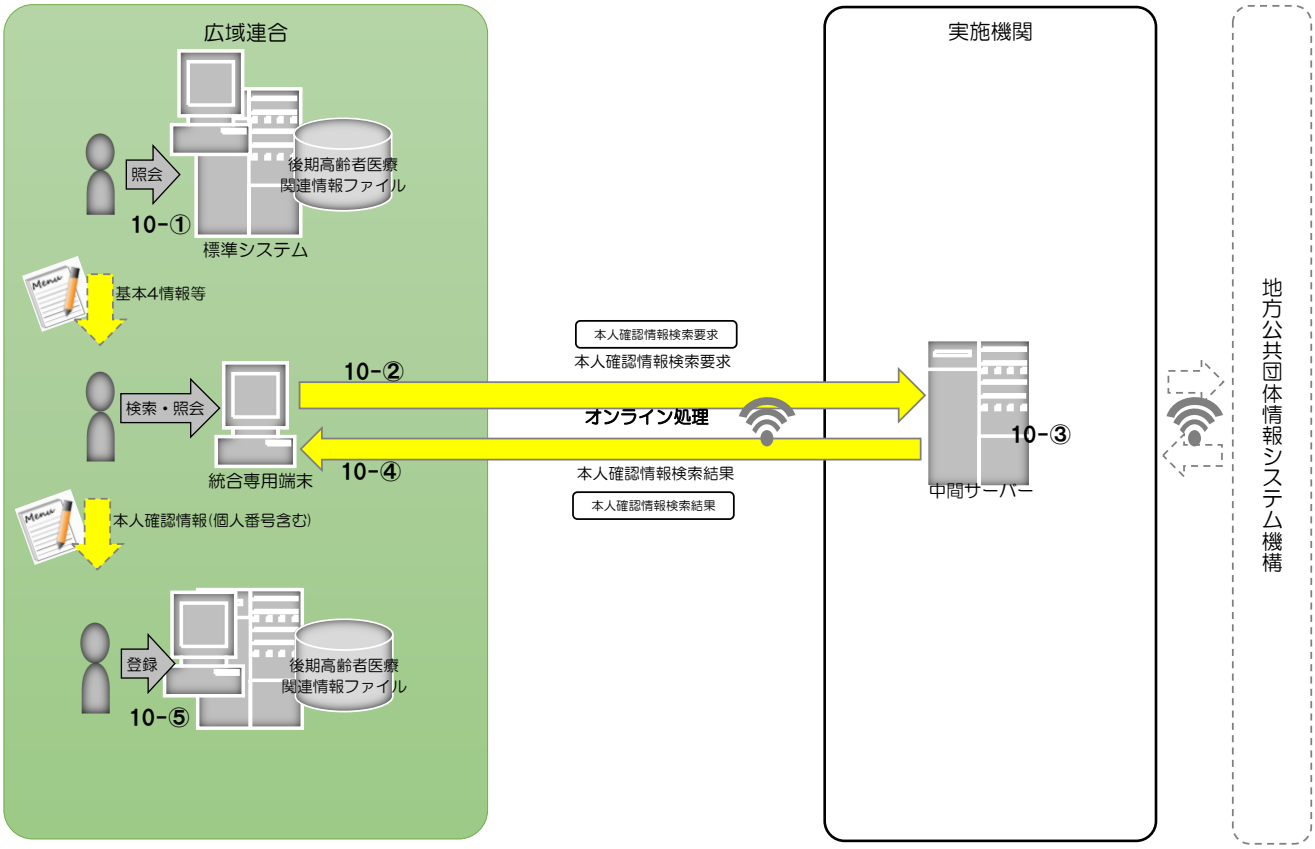
9-⑨中間サーバーから情報照会結果ファイルを受信する。

9-⑩一括処理で情報照会結果ファイルを取り込む。

9-⑪市町村の窓口端末や広域連合の標準システムで、情報照会結果をオンライン画面から確認する。

(別添1) 事務の内容

7．地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手(「１．資格管理業務」に付随する事務)



(備考)

7．地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手(「１．資格管理業務」に付随する事務)

10-①広域連合の標準システム端末で、本人確認情報検索の対象となる被保険者等を検索し、当該者の基本4情報等を確認する。

10-②統合専用端末に、上記10-①で確認した基本4情報等を入力し、地方公共団体情報システム機構へ本人確認情報を要求する。

10-③DX審査支払機構は上記10-②で照会要求のあった本人確認情報を地方公共団体情報システム機構に照会し、照会結果を統合専用端末へ送信する。

10-④統合専用端末で、本人確認情報（個人番号を含む。）を確認する。

10-⑤広域連合の標準システムから、当該者の本人確認情報を入力して、後期高齢者医療関連情報ファイルを更新するなど
（具体的な運用に関しては、広域連合と構成市区町村との間で、あらかじめ取り決めておく必要がある。）。

※基本4情報等：基本４情報で個人番号を入手するケースに加え、個人番号で基本４情報を入手するケースを含む。